

木材価格市況標準相場

令和7年6月3日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	9
国産材構造材	1
米材(役物製品)	2
米材(製品)	2
北洋材・北欧材	2
合板	2

○今月の市況動向

5月の商況では、値上がりした品目が9品目に上ったものの、必ずしも荷動きが良かった訳ではなく、主な要因は品不足等によるものであった。また、法改正に伴う駆け込み需要の影響については、構造材では多少見られたものの、大手ハウスメーカーやビルダーに関しては、ほとんど影響がなかったとの報告もあった。

(国産材) 原木価格は依然として強含みの状態が続いている。流通在庫は少ないものの、売れ行きが芳しくないため、価格は上げ難い状況である。

(輸入材) 2品目で値上がりとなった北欧材では、入荷遅れからサイズによっては手当が困難な状態が続いているとの報告もあった。SPFを含む米材についても、関税・金利・為替といった不確実な要素が多く、今後の相場の見通しが立て難いとの意見も出された。

(合板) 国内針葉樹合板では、昨年12月以来となる出荷量が生産量を上回る状況となり、在庫量は減少に転じている。一方、輸入合板においては、川上サイドの手持ち在庫が確実に減少しているものの、需要が低調なため、大きな問題には至っていない。